

人形劇を育てる私達の里

'91カーニバル 人形の国



熱演「すぎのこ」劇団



みんなでいっしょに

八月二日、午後二時から飯田信用金庫桐林支店では「竹の子座」と人形劇チム「青空共和国」の上演がありました。「竹の子座」は、竜丘小学校四組の児童により、長谷部邦夫先生の指導のもと今年から人形劇活動が始まりました。練習の成果が実ってりっぱな公演でした。

同日午後六時から竜丘小学校体育館で糸あやつり人形劇団「みのむし」の公演が約四百人の観客を集め始められた。人形劇場としては少々広い体育館。後ろの席の観客は人形の細かな動作、顔の表情までわかりにくかったそうですが、さすがにプロといわせる内容でした。又終了後の交流会では桐林区民を交え、糸あやつりの実演が行なわれ、盛り上がりました。

三日は午前十時から新しい上川路公民館で劇団「おにぎり」と、信州大学の人形劇サークル「シアターペケポン」の上演がありました。「おにぎり」は飯田市立保育園の保育で構成された人形サークルで、園児を対象にした内容で楽しめ、川路からも園児が駆けつけ先生達を応援するなどアットホームな公演でした。

公演の中から

八月二日、午後二時から飯田信用金庫桐林支店では「竹の子座」と人形劇チム「青空共和国」の上演がありました。「竹の子座」は、竜丘小学校四組の児童により、長谷部邦夫先生の指導のもと今年から人形劇活動が始まりました。練習の成果が実ってりっぱな公演でした。

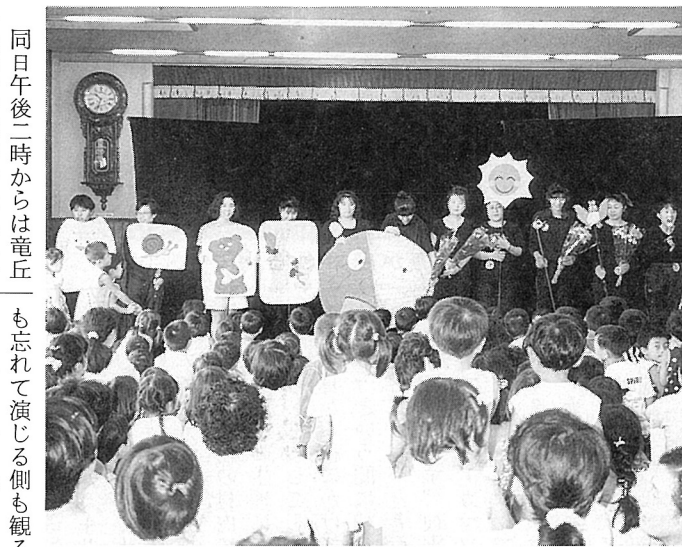
同日午後六時から竜丘小学校体育館で糸あやつり人形劇団「みのむし」の公演が約四百人の観客を集め始められた。人形劇場としては少々広い体育館。後ろの席の観客は人形の細かな動作、顔の表情までわかりにくかったそうですが、さすがにプロといわせる内容でした。又終了後の交流会では桐林区民を交え、糸あやつりの実演が行なわれ、盛り上がりました。

同日午後二時から竜丘公民館で、秘密結社「粗品進呈」という変わった名前前の劇団とオランダから「シアター・デ・スポット・フォーフル」の上演がありました。

オランダの劇は一人で演じられ、日本語がほんの少しまじるだけのオランダ語劇でした。言葉のギャップがあるにもかかわらず、劇人の演技のすばらしさ、又人形の表現力の豊かさで知らず知らずのうちに物語りの中に引き込まれました。

四日は午前十時から駄科公民館で竜丘青年会駄科支部と、人形劇団「をっす」の公演が行なわれました。青年会は地元駄科支会がこの日のために練習をしてきたもので、少々練習不足の感もありましたが、その熱意が十分に感じられ、これからは地域に根ざした活動に期待されます。

同日午後一時から桐林区民センターにおいて「グリーンピース」と劇団「すぎのこ」の公演がありました。「すぎのこ」はプロならではのアレンジで、その演技に幼児から大人まで楽しめ猛暑



「おにぎり」劇団勢ぞろい



ふうちゃんとお話ししよう

飯田へ行こう！という気だにさせているのではない、それこそが劇人達を「今年も

このように長い期間の短かいカーニバルの期間の中、みなさんはいくつの人形劇をごらんになりましたか。

また、ただ見るだけでなく各公民館ごとに行なわれた交流会で劇人達と人形を通して、又心を通してあたたかな交流が行なわれ、それこそが劇人達を「今年も

同日午後二時から竜丘公民館で、秘密結社「粗品進呈」という変わった名前前の劇団とオランダから「シアター・デ・スポット・フォーフル」の上演がありました。

オランダの劇は一人で演じられ、日本語がほんの少しまじるだけのオランダ語劇でした。言葉のギャップがあるにもかかわらず、劇人の演技のすばらしさ、又人形の表現力の豊かさで知らず知らずのうちに物語りの中に引き込まれました。

四日は午前十時から駄科公民館で竜丘青年会駄科支部と、人形劇団「をっす」の公演が行なわれました。青年会は地元駄科支会がこの日のために練習をしてきたもので、少々練習不足の感もありましたが、その熱意が十分に感じられ、これからは地域に根ざした活動に期待されます。

同日午後一時から桐林区民センターにおいて「グリーンピース」と劇団「すぎのこ」の公演がありました。「すぎのこ」はプロならではのアレンジで、その演技に幼児から大人まで楽しめ猛暑

交流会もにぎやかに

このように長い期間の短かいカーニバルの期間の中、みなさんはいくつの人形劇をごらんになりましたか。

また、ただ見るだけでなく各公民館ごとに行なわれた交流会で劇人達と人形を通して、又心を通してあたたかな交流が行なわれ、それこそが劇人達を「今年も

グループ紹介

皆さん人形あり急な話でしたが「あんとんぼ」という名前をつけ、先輩格の子供さんの応援を受けて、七月二十九日園児の歓声の中、緊張感一杯の初公演は成功のうち終了しました。カーニバルの人形劇講座にも参加する等今後は人形劇を楽しみながら、四月のクラス変えを機に、子供達に刺激され発足したものです。当初は名前もなく月一回の定例会をもち児童「はらべこあおむし」を題材に、くっ下等を活用して人形作りに取り組んで来ました。

そんな話を聞きつけ、千葉保育園で誕生会に是非上演を依頼が

ふうちゃんとお話ししよう

時又では昨年に引きつづいて外国からのお客様を迎えての交流でしたが、言葉を越えた何かそこにあったと思います。今、国際化という事がさげられる中、それが具体的な形で体験できるものもカーニバルならではのことでしょう。

又地元からも小学生や青年達が積極的に参加することで、より身近にカーニバルを体験でき今年もこの祭典を終えることができました。このカーニバルを運営された方、又観賞された方々それぞれさわやかな夏の日の思い出になったことでしょうか。

あおむし ニョロ ニョロ

あきたた...。いくらバブル経済とは言え、自分の暮らしを思えば唯一言、あきた世の中だ。自由経済、競争の自由と言いつつ、証券会社は強者の味方。言いなり、企業はなすりわり構わずの金儲け主義。これが日本の姿か。

来たるべき二十一世紀に又子供達に、我々は何を残すのか。数億円かけたゴルフ場もいいが、少し手入れした野原がいい。名画は鑑賞する為にあると思う。

自然を破壊し、金儲けに走る日本に対し、世界は、自然は、何を与えてくれるのか。

失なう物が多すぎる現代人としての心だけは、失いたくない。

飛へ！飛へ！

人形劇団「あかとんぼ」

物・金の時代から、心・ゆとの時代になったと言われ始めたのはいつ頃だろうか。

休日を増やし、文化・スポーツで生活を豊かにしよう。その掛け声で日本中にゴルフ場が出来た。水源地は農薬汚染の心配。

絵画ブームで世界中から名画を買い集めた。鑑賞して楽しむのではなく、唯の財テクブームだった。

土地・建物などの不動産の高騰で生まれたアブク銭が株式に流れ、やがて日本中が株式に一喜一憂し出した。毎日が最高値という程株式市場に金が流れ込んだ。やがて暴落し、一般投資家は損害を受けた。しかし上るのも下るのも株価だから仕方ない。

しかし、今になって、日本を代表する企業、団体は損をしなければならぬ。賠償を証券会社が補償したというのだ。補てん総額は千七百億円以上らしい。

発行所 飯田市竜丘公民館
編集人 竜丘公民館広報委員会
印刷所 龍共印刷株式会社
上郷町黒田 ☎22-5353

人口 6,431人
男子 3,095人
女子 3,336人
世帯数 1,815人
(3年7月30日現在)

古墳を生かした街づくりを 古墳を考える会 活動報告

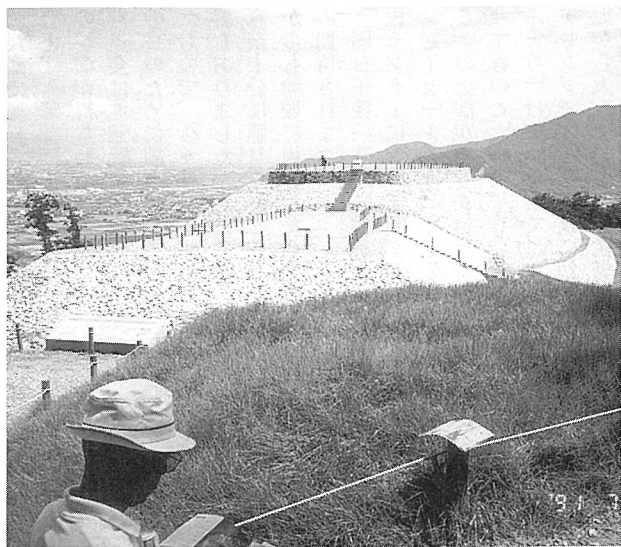
竜丘古墳を考える会は、平成元年に発足以来、地域の古墳の調査を中心に活動を続けてきましたが、先日更埴市の森将軍塚・有明山将軍塚古墳を学し、古墳を生かした街づくりの先進地に学びました。

古墳を考える会は、昭和六十二年に公民館が主催した竜丘フォーラムの一つの分科会としての「古墳を考える会の準備会」からスタートしました。この準備会では約百三十基あった古墳が現在ではそのほとんどが消滅し、現存するものは三十五基、わずかに痕跡を残しているものも併せて四十一基との衝撃的な報告があり、このときから発足に向け準備を進めてきました。この翌年の昭和六十三年には、古墳めぐりを行ったり、地域発見マップの「ふる里歴史散歩道」を作成しましたが、この小冊子は貴重な地域の財産である古墳・史跡・ギョウチョウなどが詳しく紹介され、地域を知る恰好の資料となりました。平成元年九月には、古墳を考える会が発足の総会を行い、文化財での展示、現存する古墳の整理カードの作成に着手しました。また、この年にも竜丘ふる里教材「村のみちしるべ」を作成しました。

平成二年度は、現存古墳調査票の作成に力を入れ、各古墳ごとに担当者を決め現地調査をはじめ、聞き取り調査を進めて、完成を目ざして進めました。治水対策事業の進展に連動し、現存の塚原古墳群を中心とした古墳公園化構想が浮上しています。今年度になってからは、現存古墳調査も進み、今年度中の完成をめざしています。古墳を考える会も今年度三年目を迎え、その間地域内へいろいろな働きかけが行われ、古墳を見直していくという機運が高まりつつあります。また、治水対策などの大規模事業が進む中、古墳を地域に生かす具体的な方法の検討が早急に求められていることも事実です。

このため、古墳見学の案内・説明看板の設置や取りつけ道路の整備などを行い、たい方針ですが、古墳所有者との意思の疎通や経費的な課題等もあるため、自治会との連携の強化や教育委員会との連絡等を中心として地域の合意形成を図ることとしています。

また、去る七月二十一日には会の有志で古墳公園化構想に役立てるため更埴市を訪れ、丁度前日に出発した公民館の委員研修旅行と合流して森将軍塚古墳を見学しました。森将軍塚古墳は長さ約百メートルの前方後円墳で今からおおよそ千六百年ほど前に作られたものです。更埴市では古墳を築造当時の姿に復元し、保存を図るために、昭和五十六年から十一年計画で整備が進み、毎年二千万から六千万円の事業費が投入され、今年度事業が完了する予定です。古墳公園として整備され、古墳が公園そのものとなっています。



森将軍塚古墳

最近緑多い松林に赤茶けた枯木を見つけたら方も多いいと思います。「松くい虫」一度は耳にしたことがあると思いますが、飯田市では五十八年に竜江で発生を確認して以来被害はほぼ全市に広がっています。飯田市では現在松くい虫被害対策本部を設けその駆除に追われているという事です。松くい虫は「マツザイセンチュウ」という体長一ミリにも満たない奇生虫で「マツマダラカミキリ」を運び屋とし五月から七月にかけて松から松へと移動しマツマダラカミキリの食跡から線虫が松の材内に侵入し急激に松の生理に異常をもたらす枯らしてしまします。夏から秋にかけて変色しアツという間に枯れるのは「材線虫病」と考えて間違いない様です。被害を受けやすい木はアカマツ、クロマツ、ヒメコマツで材線虫とマダラカミキリはどちらか一方が欠けても成りたたなくなり両者は実に巧みに協力し合っているのだそうです。

今・松の木が危い!!

防除対策として伐倒焼却薬剤処理、地上薬剤散布と監視員によるパトロール監視、通報。マダラカミキリの捕獲等がある様です。桐林でも伐倒木を集めビニールを被せ臭化メチルで薬剤くん蒸されているものが見られます。竜丘では一〇〇本あまり処理されており市全域の二六%にも達しています。見つけたらすぐ通報し、地域の緑を守る為にも被害拡大の防止にとめたいものです。皆さんの庭の松は大丈夫ですか？

館報縮刷版 発行準備会発足

昨年度より計画されていた公民館縮刷版発刊事業に向けて発行準備会が発足した。

竜丘公民館報は昨年二〇〇号を迎えたが今までに縮刷版は発行されておらず、竜丘の昭和の記録として大きな意味を持つと思われる。今回は昭和五年から発行された竜丘時報も合わせ縮刷が予定されており六十年間の記録として残る事になる。推進組織として刊行委員

お知らせ

おねがい

○十月十日、今年からこの日が竜丘地区運動会となり内容も種目を変え団体種目も増やす等、多勢の方が参加出来てしっかり楽しめそうです。運動会なんて...と言っているアナタも一緒に地区内の皆さんと楽しい運動会にしましょう。

○公民館縮刷版発刊にあたり欠落号が有り編集に支障をきたしております。地区の皆様方の中で保存されている方がおりましたら、公民館までご連絡下さい。

●昭和五年〜十五年までの竜丘時報

●館報竜丘第九、十、十一、十二、三十六、三十七、百五十四号

決まった!! スパイク ソフトバレーボール大会

七月七日(日)に竜丘小学校体育館に於いて、各分館対抗のソフトバレーボール大会が行なわれました。気軽なソフトバレーという事や、各分館の代表という事で当日は総勢二百名という選手達の熱い戦いが繰り広げられました。また、今年からルール面が何点か変更された他、審判も今迄はバレーボールリーグの方々に依頼していたものを、今年は公民館の体育指導員の手で行ったりと最初はいろいろととまどいもあつたようですが、終わってみれば仲々盛り上った大会となりました。組合せと結果は次の通りです。

竜丘再発見

泉道駄科大瀬木線、中には大井川と呼ぶ方も多いと思いますが、その名の通り大井川と隣接しています。今回はその大井川を取り上げてみました。

村人の汗が造った大井川

「大井川」別名伊賀良井は、古くは中山道井と言われ、寛治四年(一〇九〇年)北方に住む尾曾九助という人が、屋敷のうちに用水を造ったのが最初と言われている。この用水は水田にも用いられていたところ、保元二年(一一五七年)大水が出て、ことごとく破損したままになっていたが、文治元年(一一八五年)小笠原氏が松尾城を築く際に、

おらず、その数字はどこまで信用できるか疑問である。ただ言える事は、鈴岡城の堀や用水の為に水を引いて来たのが始めであると思われる。伊賀良井は、江戸期まで

下伊那で最大の用水路であったが、当時の背景としてはかなり高い技術と、藩の強い後押しがあったものと思われる。なかでも伊賀良井関係の水田だけで年貢高が五千俵余りに及ぶのが、完成までに長い年月と、費用のかかった事を物語っている。自然と取り組んだ多く



当時の苦勞が偲ばれる.....

七月七日(日)に竜丘小学校体育館に於いて、各分館対抗のソフトバレーボール大会が行なわれました。気軽なソフトバレーという事や、各分館の代表という事で当日は総勢二百名という選手達の熱い戦いが繰り広げられました。また、今年からルール面が何点か変更された他、審判も今迄はバレーボールリーグの方々に依頼していたものを、今年は公民館の体育指導員の手で行ったりと最初はいろいろととまどいもあつたようですが、終わってみれば仲々盛り上った大会となりました。組合せと結果は次の通りです。



焼却される松の木

対戦組合せ	
上川路 女子	駄科 男子
長野原	桐林
結果	結果
1位 桐林	1位 駄科
2位 上川路	2位 上川路
3位 長野原	3位 時又